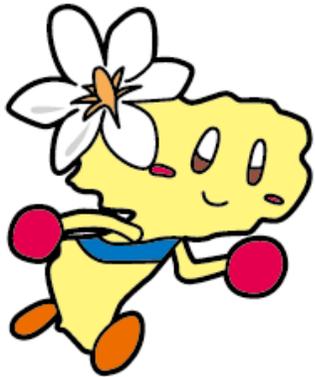




大府市

令和5年度9月補正予算

概要資料



大府市公式マスコットキャラクター
「おぶちゃん」



目次

① 社会福祉法人による施設整備を支援します	1 頁
② 「ラーケーションの日」を導入します	2 頁
③ 修学旅行の延泊費用を公費で負担します	2 頁
④ 産前・産後サポーター派遣事業を開始します	3 頁
⑤ 水道基本料金の無償化を4か月間延長します	4 頁
⑥ 江端公園に駐車場を整備します	5 頁
⑦ 環境にやさしい有機農業を推進します	6 頁
⑧ 市公式LINEの機能を拡充します	7 頁
⑨ 新たな事業提示型協働事業を実施します	8 頁
⑩ 消防・救急体制の整備を計画的に進めます	8 頁
⑪ その他の補正内容	9 頁

①社会福祉法人による施設整備を支援します



予算額 24,132千円

障がい福祉サービスの提供体制の充実や、介護保険施設における介護人材の確保を図るため、必要な施設整備を行う社会福祉法人へ補助金を交付します。

障がい福祉施設整備費の補助

- 対象法人
社会福祉法人 憩の郷
- 事業所名
ライムプラス（仮称）（北崎町二丁目）
- 事業概要
国県の補助を受けて新設する障がい福祉施設（就労継続支援B型・生活訓練・生活介護のほか、施設内でひきこもり支援事業の実施を予定）の整備費に対して、市単独で2,000万円の補助金を交付

介護保険施設整備費の補助

- 対象法人
社会福祉法人 愛知県厚生事業団
- 事業所名
特別養護老人ホーム愛厚ホーム大府苑
（森岡町七丁目）
- 事業概要
県の介護施設整備の補助制度を活用し、外国人の技能実習生の受入れのために実施する職員宿舍の改修に要する費用に対して、413万2千円の補助金を交付

福祉部高齢障がい支援課
障がい福祉係（366）／高齢福祉係（361）

②「ラーケーションの日」を 導入します

予算額 11,679千円

愛知県が創設した「休み方改革」プロジェクトの一環である「ラーケーションの日」を県のモデル事業として全小中学校で導入し、効果や課題等の検証を行います。

- 導入校 市内全小中学校（計13校）
- 実施期間 令和5年10月～令和6年3月
- 「ラーケーションの日」取得可能日数
2日間（2学期から実施のため。令和6年度以降は年3日間）

※「ラーケーション」の日とは・・・
ラーニング(学習)とバケーション(休暇)を組み合わせた、新しい学び方・休み方として、子どもが保護者とともに校外（家庭・地域）で体験や探求の学び・活動を自ら企画し、実行することができる日



③修学旅行の延泊費用を 公費で負担します

予算額 7,044千円

大府北中学校の修学旅行が大雨の影響により延泊となったことに伴う追加費用を公費で負担することにより、保護者や引率した教員の負担軽減を図ります。

- 概要
令和5年5月31日から2泊3日で実施した大府北中学校の修学旅行の最終日において、台風や梅雨前線の活動に伴う記録的な大雨により、東海道新幹線が終日運休となり、現地での延泊が必要となったもの
- 公費負担額（追加費用分）
 - 生徒（保護者）分（296人） 6,628,960円
※生徒1人当たり 約22,400円
 - 引率教員分（17人） 414,630円

④産前・産後サポーター派遣事業を開始します

予算額 2,003千円

全ての妊婦や子育て世帯に寄り添ったきめ細かな支援体制の一環として、妊娠期や出産後における家事や育児に係る負担の軽減を図るため、自宅にヘルパーを派遣して家事や育児をお手伝いする「産前・産後サポーター派遣事業」を開始します。

○事業内容

産前・産後サポーターを利用者の自宅に派遣し、調理・洗濯等の家事や、おむつ交換・沐浴介助等の育児に係る支援を行います（サポーターは市内のNPO法人等から派遣します）。

※令和5年10月から申請受付を開始し、11月から派遣を開始します。

※事業の財源として、子ども・子育て応援基金を活用します。

○対象者

市内に住所を有する妊婦（母子健康手帳交付後）、又は出生後6か月未満の子どもがいる家庭
※いずれも、親族等から支援を受けられる方は除きます。

○利用料金

平日600円／時間、休日800円／時間 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は無料

○利用時間

1日4時間以内、1月当たり16時間以内（利用可能な期間を通じて合計80時間まで）



⑤水道基本料金の無償化を4か月間延長します

予算額 133,000千円

物価高騰に直面する市民や事業者を引き続き力強く支援するため、令和5年5月から10月まで（半年間）の予定で実施している水道基本料金の無償化を更に4か月間延長します。

○対 象

市内で水道を利用している世帯及び事業者
※県や市などの公共施設は除きます。

○延長期間

令和5年11月検針分～令和6年2月検針分（4か月分）

○対象件数

約35,000件

○実施方法

当該期間の水道料金から基本料金相当額を差し引いて請求します。
※市民や事業者の皆様が行う手続きはありません。



水と緑の部水道経営課
水道業務料金係（451）

⑥江端公園に駐車場を整備します

予算額 44,152千円

江端公園利用者の要望等を踏まえ、市民の利便性の向上を図るため、公園内に新たにバリアフリー対応の駐車場を整備します。併せて、公園内にある運動広場（グラウンド）のネットフェンスを更新し、安全対策の強化を図ります。

○駐車場整備

江端公園（江端町四丁目）の南東部に、バリアフリー対応の駐車場（10台分）を整備します。

※既設の健康遊具は移設します。

○ネットフェンス更新

運動広場からのボール抜けを防止するネットフェンスについて、既設のフェンス（高さ1m）を撤去し、新しいフェンス（高さ2.5m）を設置します。



水と緑の部水緑公園課
緑花公園係（466）

⑦環境にやさしい有機農業を推進します

予算額 5,137千円

環境にやさしい有機農業を推進するとともに、地産地消や食育を推進するため、市内で採れた有機栽培の農産物を学校給食で提供するほか、国の補助金を活用し、学校で使用する調理器具を購入します。また、有機農業に取り組む農家等を支援するため、収入保険制度に加入する農業者への補助制度を新たに開始します。



学校給食での有機農産物(地場産物)の活用

○実施内容①

市内で採れた有機栽培の米とさつまいもを公費で購入し、市内全小中学校（13校）の全学年の学校給食で提供します（11月以降に2回実施予定）。

○実施内容②

学校給食における地場産物の使用促進を目的とした国の補助制度を活用し、大府北中学校にフードスライサーを設置するとともに、地元産の伝統野菜等の活用に向けた検討を行います。

収入保険制度の補助

○事業概要

全ての品目を対象に、自然災害による収穫不良等、様々なリスクによる農家の収入減少を補償する収入保険制度の加入を支援し、有機農業の拡大や農薬・化学肥料の低減に向けた取組を促進します。

○対象者

認定農業者や認定新規就農者等、市内に住所を有する地域農業の担い手

○補助内容

収入保険制度の保険料の2分の1（上限10万円）

有機農業に関すること：産業振興部農政課 農業振興係（342）
学校給食に関すること：教育委員会学校教育課 学校総務係（483）



⑧市公式LINEの機能を拡充します

予算額 682千円

市公式LINEの利便性の向上を図るため、道路や公園の損傷などを市民が簡単にLINEから通報できる機能や、市民が欲しい情報だけを選択して受信できるセグメント配信機能を新たに導入します。

○LINE通報機能の概要

道路・公園の損傷やゴミの不法投棄などの現場写真と位置情報を、市民がLINEを通して市へ通報できる機能

○通報対象

- 道路（舗装・ガードレールの破損、街路灯の不具合 等）
- 公園（遊具・施設の破損、草の繁茂 等）
- ゴミの不法投棄

○LINEセグメント配信の概要

「文化」や「子育て」など、ユーザーの興味や関心のある分野を予め登録することにより、希望する情報のみを受け取ることができる機能

【市公式LINEアカウントの現状】

- ・導入：令和2年5月28日
- ・フォロワー：8,697人（ブロック率11%）
※8月9日時点
- ・投稿内容：市政ニュース、イベント情報、広報紙発行、職員採用情報 等

企画政策部企画広報課
広報広聴係（254）

⑨新たな事業提示型協働事業を 実施します

予算額 212千円

大府市協働のまちづくり推進条例に基づき、市民との協働により実施する「事業提示型協働事業」として、新たに「アウトリーチによる音楽会」と「長期欠席者への教育支援」の2事業を実施します。

○アウトリーチ音楽会

「バイオリンの里・大府」の実現に向け、市内公立保育園2園に事業の実施団体が出向き、生の音楽を子ども達に届けるための音楽会を開催します。

○長期欠席者教育支援

教育支援センター（レインボーハウス）を利用する児童生徒を対象に、ワークショップ等の体験活動を月に1回実施するとともに、保護者のための座談会を開催します。

音楽会に関すること : 市民協働部文化交流課 文化振興係 (326)
教育支援に関すること : 教育委員会学校教育課 学校総務係 (483)

⑩消防・救急体制の整備 を計画的に進めます

予算額 42,738千円

消防・救急体制の更なる充実を図るため、国の補助金を活用し、高規格救急自動車を新たに1台導入するとともに、消防職員住宅の改修工事を行います。

○高規格救急自動車の整備

高度救命処置用資機材を含む災害対応特殊救急自動車（1台）を購入します（国の緊急消防援助隊設備整備費補助金を活用予定）。

○消防職員住宅の改修

救急自動車の増車に伴う新規採用職員の住宅を確保するため、長期間使用していない2部屋の内装工事を実施します。



消防本部
消防総務課 (47-2207)

⑪ その他の補正内容

○生活保護・中国残留邦人支援制度の基準改定に伴うシステム改修の実施

予算額 9,790千円

○当初見込を上回る補助金の予算増額
(自転車乗車用ヘルメット・次世代自動車の購入補助金)

予算額 23,400千円

○産前・産後の国民健康保険税の免除制度の開始に伴うシステム改修の実施

予算額 4,774千円

○令和4年度の決算剰余金を活用した基金の積増し(子ども・子育て応援基金、公共施設等整備基金)

予算額 400,000千円

○ウェルネスバレー健康産業ゾーンの開発検討区域における埋蔵文化財の試掘調査

予算額 9,649千円

○令和4年度に過大交付された国県支出金の返還金の予算増額

予算額 183,018千円